



Artwork: Katsuhiko Hibino

熊本市第8次総合計画 令和7年度アクションプラン

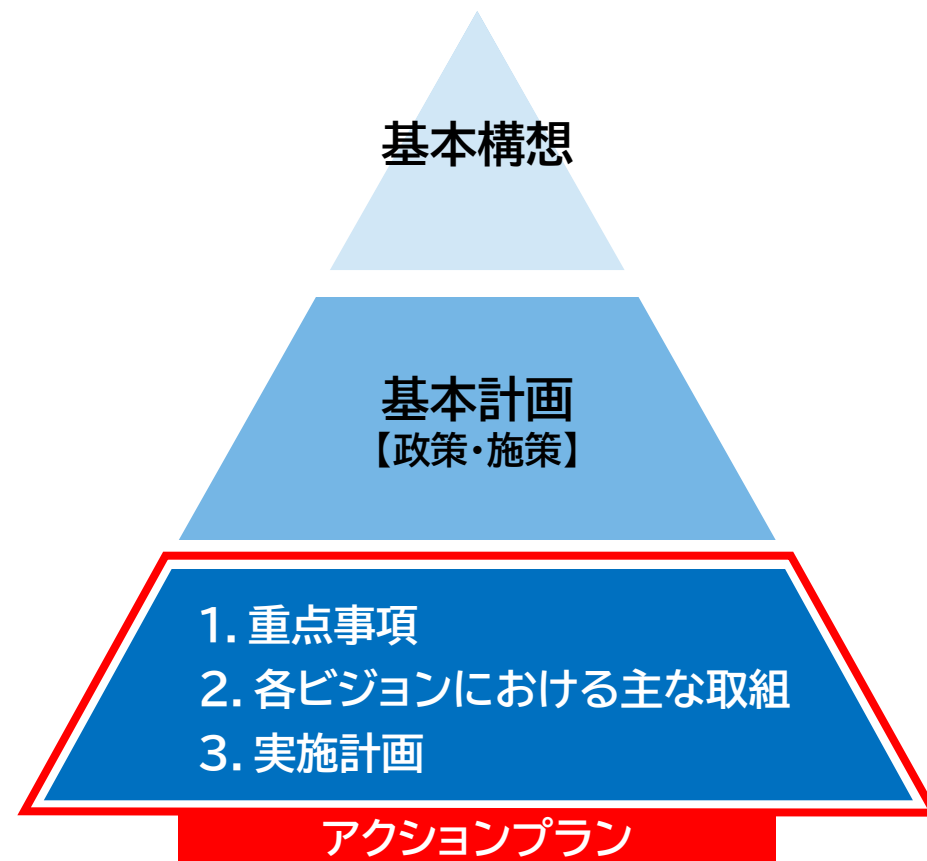
1. 重点事項
2. 各ビジョンにおける主な取組

感じる計画! PLAN^{to}FEEL!

令和7年(2025年)5月

アクションプランについて

- ✓ アクションプランは、総合計画を構成するもの(基本構想、基本計画、アクションプラン)であり、当該年度の重点事項や基本計画に掲げた施策の具体的な事業、検証指標などをとりまとめたものです。
- ✓ 国の動きや社会経済情勢、市民ニーズ、行政評価の結果等を踏まえ、予算編成とも整合を図りながら、毎年度策定・公表することとしています。
- ✓ なお、「1. 重点事項」及び「2. 各ビジョンにおける主な取組」をとりまとめた本冊と、個別事業をとりまとめた「3. 実施計画」とは、別に作成します。

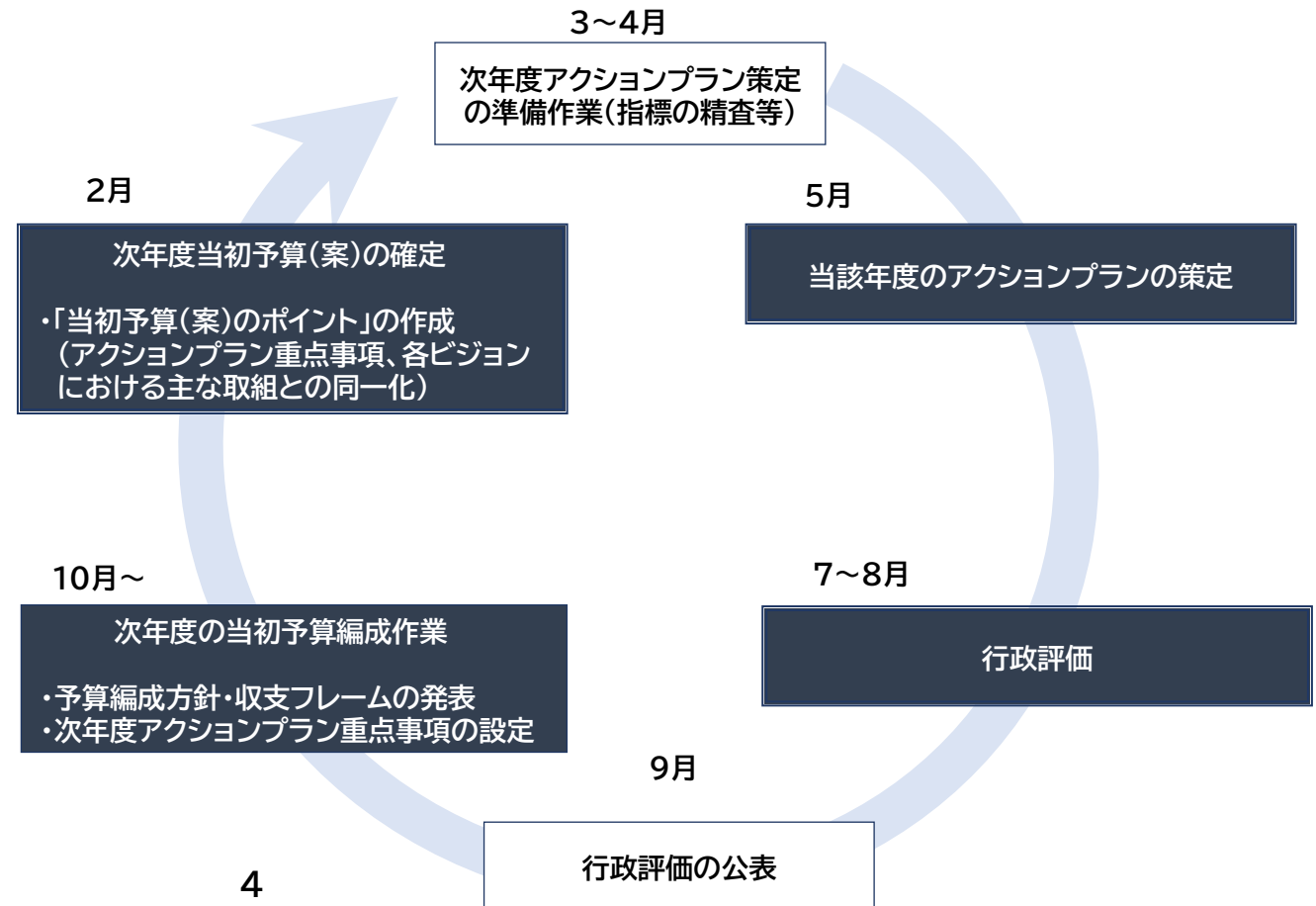


第8次総合計画の着実な推進に向けたマネジメント(PDCA)サイクル

1. 年間を通して、第8次総合計画の「8つのビジョン」(P)について、事業の進捗状況(D)や行政評価の結果を踏まえた課題の把握・分析(C)を行い、必要な施策展開のための調整や協議、企画立案(A)を行います。(PDCAサイクルの推進)
2. 特に、マニフェストの進捗管理や社会経済情勢の変化等を踏まえた新規拡充施策について、次年度予算で対応が必要なものは予算編成前に十分な検討を行うとともに、必要に応じて補正予算での対応を行います。
3. 庁内においても緊密な連携のもと、課題の共有と調整を図っていきます。

【年間のマネジメント(PDCA)サイクル】

行政評価、当該年度の事業やマニフェストの進捗管理、更には国の動向や社会経済情勢の変化等を踏まえ、次年度の施策展開へ繋げるマネジメントサイクルを構築します。



本市を取り巻く状況

本市は、半導体関連企業の熊本進出やインバウンドの増加等により、地域経済の発展に向けた千載一遇のチャンスが到来しています。この効果を最大限に高めるため、戦略的な企業誘致や観光施策の展開、多文化共生の推進などの様々な取組を進めています。

一方で、慢性的な交通渋滞への対応や地下水をはじめとした自然環境保全への取組など、地域経済の発展と市民生活の質の向上の両立を図る取組も求められています。

また、持続的な発展を実現するためには、少子・高齢化、人口減少への対応も喫緊の課題であり、国の骨太の方針や令和7年度当初予算等においても、「こどもまんなか社会」の実現、少子化対策・こども政策の強化が掲げられているところです。

本市においても、令和6年度に熊本市こども計画を策定し、こども施策を総合的に推進していくこととしており、こどもを中心とした取組を引き続き強化していくことが求められています。

目次

1. 重点事項	7
2. 各ビジョンにおける主な取組	15
ビジョン1:こどもが輝き、若者が希望を抱くまち	18
ビジョン2:市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち	22
ビジョン3:市民生活を守る強くしなやかなまち	26
ビジョン4:だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち	28
ビジョン5:豊かな環境を未来につなぐまち	30
ビジョン6:すべての市民がより良い暮らしを営むまち	32
ビジョン7:安全で良好な都市基盤が整備されたまち	34
ビジョン8:市民に信頼される市役所	37
区における自主自立のまちづくり	39

1. 重点事項

国の動きや本市を取り巻く状況等を踏まえ、以下3項目については、スピード感を持って集中的に取り組む必要があることから令和7年度の重点事項として設定します。

重点事項1 慢性的な交通渋滞の解消

15事業 112億円

熊本県と連携し、渋滞緩和の取組を市民に広げます！

公共交通の諸課題に取り組み、
マイカーから公共交通への利用転換を図ります！



重点事項2 半導体関連企業の熊本進出に伴う諸課題への対応

32事業 11億円

半導体関連企業の誘致を促進するとともに、
地下水を将来にわたって守ります！

本市在住外国人の増加に対応し、受入環境を整備します！



重点事項3 総合的なこども施策の推進

147事業 688億円

“こどもが輝き、若者が希望を抱くまち”を実現します！

安全安心なこどもの居場所の提供に取り組めます！



I ソフト対策事業(交通渋滞の緩和、公共交通の機能強化・利用促進等)

(単位:千円)

No.	局名	課名	事業名	事業概要	令和7年度 当初予算額
1	健康福祉局	高齢福祉課	■ 熊本市おでかけICカード関係経費	熊本市おでかけICカードに係るバス事業者等への運行負担金等に要する経費	655,500
2		障がい福祉課	■ 熊本市おでかけICカード関係経費(障がい者分)	熊本市おでかけICカードに係るバス事業者等への運行負担金等に要する経費	180,300
3	都市建設局	交通企画課	■ 交通需要マネジメント経費	ルートマネジメントや快速バスの実証実験等に要する経費	27,700
4			■ 自動運転社会実装推進経費	運転士不足等の課題解決に向けた自動運転バスの実証実験に要する経費	152,000
5			■ 熊本地域公共交通計画推進経費	熊本地域公共交通計画の改定に要する経費	9,000
6		公共交通推進課	■ 交通結節機能強化対策検討経費	新水前寺駅付近へのバスベイ設置に係る詳細設計や上熊本駅をはじめとする熊本都市圏北東部の公共交通機能強化検討に要する経費	20,800
7			■ バス交通運行効率化関係経費	公共交通ネットワークの維持確保及びバス路線の持続可能な公共交通ネットワーク形成を促進するため、県と協調した支援に要する経費	8,800
8			■ 公共交通利用促進事業	公共交通の利用促進に取り組む交通事業者の支援等に要する経費	20,000
9			■ 公共交通のあり方検討経費	持続可能な地域公共交通の実現に向けた検討等に要する経費	10,000
10		地域交通支援課	■ コミュニティ交通推進経費	公共交通空白地域等における乗合タクシー等の運行やコミュニティ交通のサービス水準検討に要する経費	61,000
小計					1,145,100

慢性的な交通渋滞の解消（つづき）

Ⅱ ハード対策事業(渋滞箇所・関連箇所の道路等のハード整備)

(単位:千円)

No.	局名	課名	事業名	事業概要	令和7年度 当初予算額
1	都市建設局	市街地整備課	■ 熊本駅新幹線口駅前広場交通対策経費	熊本駅新幹線口駅前広場の渋滞解消に向けた改修工事等に要する経費	318,900
2		土木総務課	■ 半導体関連企業集積交通対策経費	半導体関連産業集積に伴う交通対策に要する経費	367,300
3			■ 熊本西環状道路整備経費	熊本都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援するため、「池上工区」及び「池上インター線」の令和7年度開通、「砂原工区」の早期開通に向けた整備に要する経費	5,704,003
4			■ 都市計画道路等の計画的な整備	(都)坪井龍田陳内線や国道501号等、都市の骨格を形成する都市計画道路等の幹線道路整備に要する経費	3,542,268
5			■ 10分・20分構想調査検討経費	10分・20分構想に係る新たな3つの高規格道路の概略ルート案の検討に要する経費	121,000
小計					10,053,471
Ⅰ・Ⅱ 合計					11,198,571

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和7年度 当初予算額
01	戦略的な 土地利用検証	半導体関連産業の集積を見据えた 誘致活動の展開	■ 半導体関連企業誘致強化事業	経済観光局	半導体関連企業の立地促進のための誘致活動の実施	28,700
02			■ 立地企業支援事業		進出企業に対するフォローアップ支援の実施	4,000
03	人材確保・育成	人材不足への対応	■ 合同就職説明会開催経費	経済観光局	半導体関連産業も含めた合同就職説明会の開催	18,000
04			■ 地場企業インターンシップ促進事業		半導体関連産業も含めたインターンシップマッチング会の開催(対象:県内外大学生等)	16,000
05			■ しごと学びWEBライブ事業		半導体関連産業も含めた地場企業と地域産業を学ぶ機会の創出(対象:小中学生)	10,000
06			■ UIターン移住促進雇用対策事業		半導体関連産業も含めた人材確保のため、UIターンサポートデスク運営と移住サイトの改修を実施	39,900
07			■ 首都圏プロモーション経費	政策局	首都圏におけるネットワーク(TOKYO BASE 096)を活用した関係人口の創出及び関係部局と連携した情報発信	8,400
08	国際交流・広報	台湾からの移住者の受入環境整備	■ 台湾との交流促進経費	政策局	半導体関連企業進出に伴う多文化共生推進事業と台湾からの移住者支援	7,787
09		台湾に対するPR	■ 台湾との交流促進経費		台湾・高雄市との交流促進事業の実施	1,313
10			■ 台湾誘客経費	経済観光局	県内自治体と連携した台湾からの観光誘客プロモーションの実施	8,000
11			■ 半導体関連企業の熊本進出を契機とした海外への食の魅力発信事業	農水局	本市の農水産物・加工品の販路拡大の取組を実施	16,000
12			■ 首都圏プロモーション経費	政策局	首都圏在住の台湾出身者等に向けたワークショップやポップアップイベントの実施	5,000

次頁につづく

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和7年度当初予算額
13	国際交流・広報	外国人受入環境整備	■ ホームページ関係経費	政策局	外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」への変換システムの導入	1,120
14			■ SNSを活用した情報発信経費		LINEによる情報発信の多言語化(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、ベトナム語)	1,650
15	交通課題対策	企業誘致を見据えた交通インフラ対策の実施	■ 半導体関連企業集積交通対策経費	都市建設局	半導体関連産業集積に伴う交通対策のための工事及び設計等	367,300
16		交通結節機能の強化対策	■ 交通結節機能強化対策検討経費		新水前寺駅付近へのバスベイ設置に係る詳細設計や上熊本駅をはじめとする熊本市圏北東部の公共交通機能強化検討	20,800
17		熊本港の機能強化や都市圏3連絡道路の実現	■ 港湾整備県事業負担金		熊本港における耐震強化岸壁等の整備	218,000
18			■ 10分・20分構想調査検討経費		住民参加型の道路計画を踏まえた概略ルート案等の検討	121,000
19	住環境対策	外国人受入環境整備	■ 台湾との交流推進経費	政策局	No.08 再掲	—
20			■ 外国人受入環境整備事業		地域日本語教室の開催及び「生活」に密着した体系的な日本語教育カリキュラムの構築	10,220
21			■ 町内自治振興育成経費	文化市民局	自治会未加入世帯を対象とした加入促進及び在住外国人を対象とした自治会加入リーフレット多言語版の印刷	100
22			■ 日本語指導環境整備事業	教育委員会	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒等に対する、継続的な指導、編入初期の見守り及び通訳ボランティア派遣等	30,200
23			■ 大学生との交流による地域活性化及び多文化共生事業	中央区役所	町内自治会等の地域団体と大学生(留学生含む)や在住外国人との交流の機会を創出することで、地域の活性化や多文化共生を推進	3,000
24		人口流入に対する適切な居住誘導	■ 住環境整備促進調査経費	都市建設局	半導体企業進出で変化する住宅需要に対応するための調査の実施	13,000

次頁につづく

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和7年度 当初予算額
25	環境保全対策	地下水かん養対策の推進	■ 広域水保全体制運営経費	環境局	くまもと地下水財団と連携した湛水事業の実施	11,430
26			■ 白川中流域かん養推進経費		白川中流域における水田湛水の協力農家に対する助成	90,900
27			■ 地下水位観測経費		半導体企業進出に伴う地下水量への影響監視、観測井の機器更新	10,002
28			■ 節水対策経費		節水市民運動を展開し、節水啓発と器具普及を推進	4,100
29		水質保全対策の強化	■ 水質保全対策強化経費(地下水)		指針値超過が確認されたPFOS、PFOAの継続監視のため、井戸水の調査を実施	6,100
30			■ 水質保全対策強化経費(公共用水域)		公共用水域における要監視項目等の拡充調査の実施	6,100
31			■ 大都市水質主管担当者会議経費		半導体企業の進出に伴う課題について各政令市と意見交換を実施	800
32			■ 有機フッ素化合物対策経費		PFASの調査・対策のため、専門家会議を設置し意見・助言を聴取	1,490
33		地下水保全対策の推進	■ くまもと水ブランド情報発信経費		地下水保全の取組を『くまもと水ブランド』としてPRし、地下水保全活動に取り組む人材の育成を推進	4,550
計						1,084,962

こどもが輝き、 若者が希望を抱く まちの実現

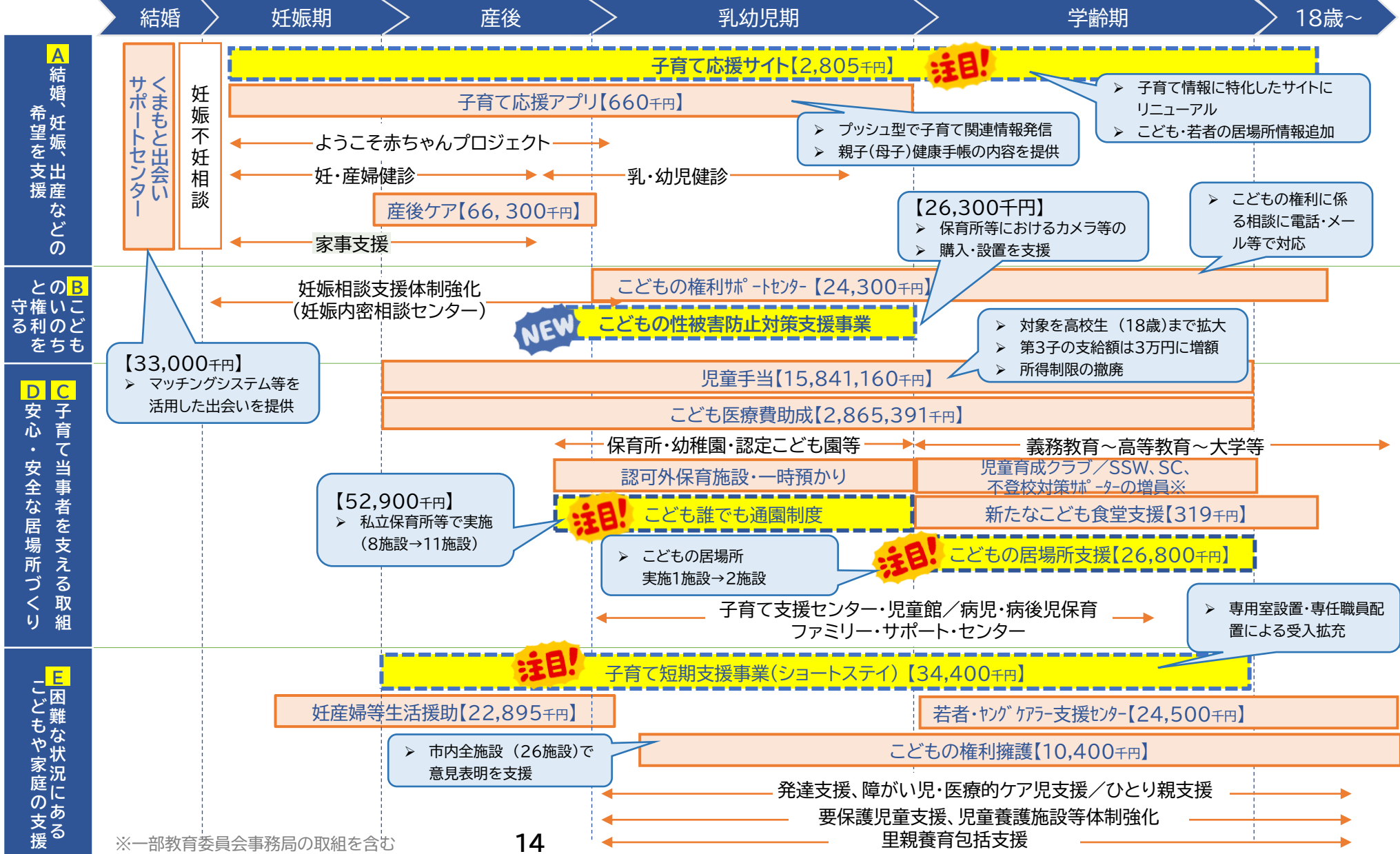
① 結婚、妊娠、出産などの希望(A)を叶えるための支援を行うとともに、こどものいのちと権利を守り(B)、子育て当事者を支える取組や、安心・安全な居場所づくり(C・D)を推進します。

② すべてのこどもの最善の利益を確保するため、困難な状況にあるこどもや子育て家庭を支援(E)します。

令和7年度 予算編成のポイント

➢ こども・若者、子育て世代の満足度・安心感の向上につながる支援の充実に努めます。

➢ 対人・対面での相談支援により、丁寧に寄り添い対応するとともに、それぞれのニーズに応じた施策をご利用いただけるよう、わかりやすい周知・広報に努めます。



2. 各ビジョンにおける主な取組

熊本市第8次総合計画の基本計画に掲げる8つのビジョン及び区における自主自立のまちづくりにおける、令和7年度の主な取組を記載しています。

第8次総合計画

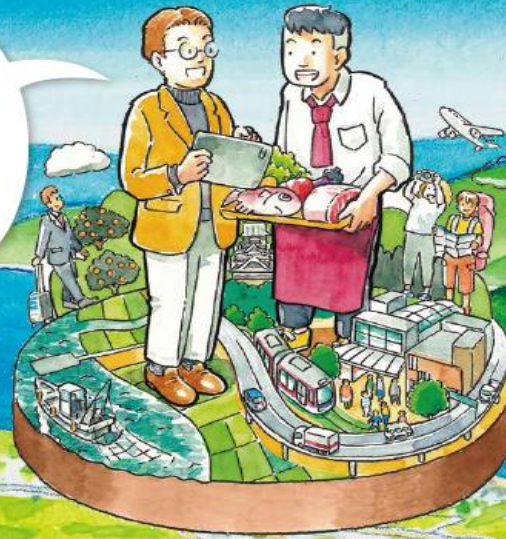
1

こどもが輝き、
若者が希望を
抱くまち



2

市民に愛され、
世界に選ばれる、
持続的な発展を
実現するまち



4

だれもが
自分らしくいきいきと
生活できるまち



3

市民生活を守る
強くしなやかな
まち



8つのビジョンに実現に向けて3つの横断的な視点を持って取り組みます。

の8つのビジョン

5

豊かな環境を
未来につなぐまち

6

すべての市民が
より良い暮らしを
営むまち

7

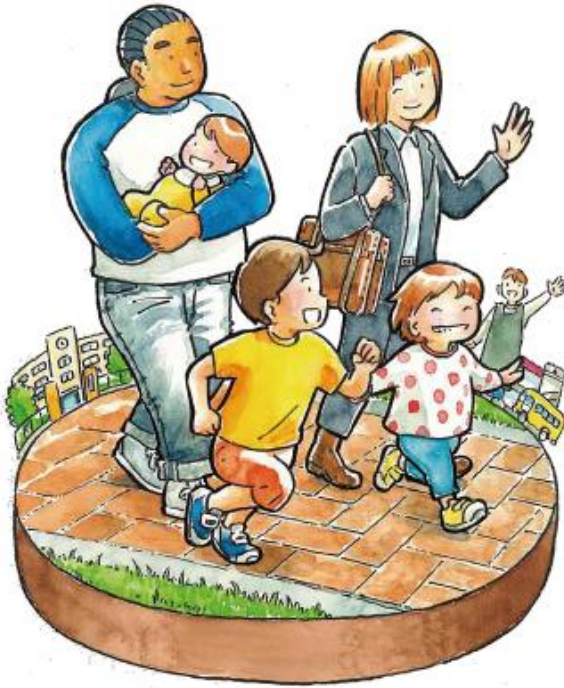
安全で良好な
都市基盤が
整備されたまち

8

市民に信頼
される市役所

「SDGsの推進」「デジタル化、DXの推進」「市域を越えた広域的な連携の強化」

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち



◆ ビジョン1がめざす姿と取組の方向性

こどもの笑顔があふれ、若者をはじめとした多様な人々が希望を抱いて暮らすことができるまちを目指し、結婚、妊娠、出産などの希望を叶えるための支援とともに、こども基本法の理念にのっとり、こどものいのちと権利を守り、こどもの健やかな成長と安心してこどもを産み・育てることができる環境の整備を進めます。

また、すべてのこどもの最善の利益を確保するため、困難な状況にあるこどもや子育て家庭を支援する取組を進めるとともに、こどもを主体とした教育を推進します。さらに、次世代を担うこどもや若者はもとより、女性や高齢者、障がいのある人、外国人などの多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、人材の定着と移住の促進を図ります。

◆ ビジョンを実現するための施策

1-1 すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援	すべてのこどもに笑顔があふれ、子育てに夢や希望を持てるまちをつくります。
1-2 困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援	困難な状況にあるこどもや子育て家庭に適切な支援が行き届き、すべてのこどもの最善の利益が確保できるようにします。
1-3 こどもを主体とした教育の推進	充実した教育環境のもと、こども一人ひとりを尊重した教育を通して、これからの時代を切り拓くこどもを育てます。
1-4 まちを支える人材の確保・育成	性別、年齢、国籍などにかかわらず、多様な人材がそれぞれの能力をいかすことができる、住んでみたい・住み続けたいまちをつくります。

(関連するビジョン)ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち／ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

結婚支援

くまもと出会いサポートセンターで結婚を後押し

12の近隣市町村と共同で「くまもと出会いサポートセンター”Kumarry（クマリリー）」を運営し、結婚を後押しします。

33,000千円



こども誰でも通園制度の実施

生後6カ月～2歳のこどもなら誰でも、親の就労状況等に関わらず、月一定時間の利用枠内で保育施設を利用できる制度を実施します。

☑実施施設数を拡充

R6:8施設 > R7:11施設

52,900千円

こどもの性被害防止に向けた環境整備を支援

保育所や障害児通所支援事業所等に対し、パーテーションやカメラ等の設置に対する支援を行うことで、こどもの性被害を防止します。

29,752千円
(一部R6補正計上)

障がい児や医療的ケア児の受入促進

保育所等に対し、障がい児や医療的ケアを必要とするこどもの受入体制整備に係る経費を支援することで受入を促進します。

☑受入体制整備に係る予算の増

R6:3.9億円⇒R7:4.7億円(1.2倍)

473,400千円

保育士確保に向けた取組を支援

これまでの就職支援コーディネーターの配置や資格取得等への支援に加え、事業者が行う就職促進等への取組を支援し、保育士の確保を図ります。

5,324千円

安心できるこどもの居場所の確保

安心・安全な居場所を提供し、こどもや家庭が抱える課題に対し包括的に支援します。

☑施設数を拡充

R6:1施設 > R7:2施設

26,800千円

児童育成クラブの体制強化

受入れ児童数の増加に対応するため、民間派遣の活用による支援員の確保と業務負担の軽減を図ります。

2,319,400千円

結婚支援事業

AIマッチングシステムによる1対1のお見合いサポート

- ・スマホやPCで、お相手探しやお見合い！
- ・AIが相性が良いと思われる異性を紹介



第三者による伴走型サポート

お見合いの立会いや交際成立後のフォローなど、伴走型でサポート！



結婚相談サポート

- ・対面orオンラインによる相談！
- ・豊富な婚活スキルを持つ職員が対応！



婚活イベント・セミナーの開催

イベントやセミナーで複数人での出会いの機会を提供



こども誰でも通園制度



親の就労状況等に関わらず
月一定時間まで
保育所などに通園できる



子育て環境の整備

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

権利擁護

母子のケア

教育環境の整備

こどもの権利を守る取組

こどもの権利擁護(アドボカシー)の普及啓発や意見表明支援員(アドボケイト)の確保・育成等を実施することでこどもの権利を守ります。

10,400千円

一時的に家庭での養育が困難となった家庭を支援

保護者の疾病等により一時的に家庭での養育が困難となった児童を一定期間預かる「子育て短期支援事業」をさらに拡充します。

34,400千円

産後の母子への専門的なケアの実施

産後の育児への不安や負担、不調を訴える産婦に対し専門的ケアを行い、健やかな育児ができるよう支援します。

66,300千円

新たな形式での学校部活動の実施

部活動指導者マッチングシステムの構築や部活動指導員の配置拡充により、顧問教員の負担軽減や部活動の指導体制の充実を図ります。
また、今後の安定的な運営に向け企業が部活動を財政支援する制度を構築します。

66,500千円

学校施設の適切な管理とバリアフリー化等の推進

学校施設の増改築や天明校区施設一体型義務教育学校の建設を着実に進めるとともに、トイレ洋式化やエレベーターの設置等のバリアフリー化を推進します。

☑施設整備に係る予算の増

R6:59億円⇒R7:89億円(1.5倍)

8,892,395千円

日本語指導を必要とする児童生徒への支援

増加する日本語指導を必要とする児童生徒に対応するため、支援の中心となる拠点校を東区に1校追加し、日本語指導体制をさらに強化します。

☑拠点校を拡充

R6:3校 ➡ R7:4校

30,200千円

施設による受入体制の拡充(子育て短期支援事業)

NEW

利用
最優先施設



延べ780人/年程度
の大幅な受入が可能
となる！

ショートステイ専用室を設置し、専従職員を配置
(児童養護施設等の空き居室を活用)

本市初の義務教育学校



熊本市立 天明みらい学園(イメージパース)

いじめ・不登校児童生徒への“こころの居場所づくり” 59,700千円

別室登校の児童生徒を支援する不登校対策サポーターの配置や、不登校児童生徒の自立を支援するフレンドリー、オンライン学習支援等の支援の強化を図ります。

☑フレンドリーの拡充

(仮称)森都心教室の設置

支援体制の強化による教育環境の整備 664,500千円

心のケアを必要とする児童生徒等に対して専門的なカウンセリングを行うスクールカウンセラーの配置時間の拡充や、医療的ケアを必要とする児童生徒に対応する看護師(学級支援員)の増員等により、更なる支援体制の強化を図ります。

UIJターン促進による人材確保 39,900千円

専門員による移住・就職に関する相談支援や公式移住情報サイトの改修、本市独自の移住イベント・プロモーションの実施等によりUIJターンを促進し、企業の人材確保を支援します。

大学生アシスタントとしての教育現場の体験 8,000千円

教員志望の大学生等に有償アシスタントとして実際の学校現場で授業支援等を担ってもらうことで、教員の資質と本市の教員となる志望意欲を高め、志願者増につなげます。

学校現場における人員配置の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	6か年増加率
スクールソーシャルワーカー (配置人数)	10	16	16	16	21	21	2.1倍
スクールカウンセラー (配置時間)	9,608	12,765	12,538	12,171	12,171	12,898	1.3倍
不登校対策サポーター (配置人数)	4	6	14	14	21	21	5.3倍
学級支援員 (配置人数)	137	138	135	168	187	192	1.4倍
部活動指導員 (配置校数)	5	5	5	8	11	42	8.4倍
大学生アシスタント (配置人数)	—	—	—	41	45	70	1.7倍

大学生アシスタント

アシスタントの主な業務

- ・TT指導(授業中の学習指導補助)
- ・基礎学力の定着サポート
- ・授業や家庭学習の課題準備補助
- ・特別な配慮が必要な児童等の支援補助
- ・休み時間の児童等との活動、見守り 等





◆ ビジョン2がめざす姿と取組の方向性

市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまちを目指し、半導体関連企業等の進出を背景に、企業誘致や創業支援、中小企業の基盤強化など地域経済全体の発展に取り組みます。

また、本市への注目や旅行需要の高まりを契機に、豊かな水と緑、良質な農水産物、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など、本市の様々な魅力を磨き上げます。

さらに、活発な経済活動を支える広域交通ネットワークの形成に取り組むとともに、活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興にも取り組みます。

◆ ビジョンを実現するための施策

2-1 半導体関連産業等への新たな投資の後押しや中小企業等の振興	半導体関連企業の進出を好機として様々な企業が集積し、スタートアップが連鎖的に生まれ、中小企業が力強く活躍し続ける、ビジネス拠点としての地位を確立します。
2-2 世界を魅了する都市ブランド力の向上	豊かな水と緑、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など本市の魅力を最大限に引き出し、世界が憧れ、市民が誇りを感じるまちをつくります。
2-3 交流人口拡大によるにぎわいの創出	本市の様々な魅力を最大限にいかし、人を呼び込み、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげます。
2-4 広域交通ネットワークの形成による物流・人流の円滑化	都市の活発な活動を支える広域交通ネットワークの形成により、ヒトとモノの流れを円滑化し、流動性を高めることで、経済発展を加速化するとともに、地域の潜在力を引き出します。
2-5 活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興	経営向上に挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的な発展を目指します。

(関連するビジョン)ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

半導体関連企業の誘致強化

半導体関連企業の企業情報や進出意向の調査を行い、効果的な誘致活動を実施し、半導体関連企業の誘致を促進します。

28,700千円

半導体関連企業集積に伴う交通対策の促進

産業ゾーンへの半導体関連企業の集積に伴う交通諸課題に対応するため、周辺道路の交差点改良等のインフラ整備を促進します。

367,300千円

誘致活動による企業立地の促進

本市への企業立地を促進するため、企業に対する誘致活動とともに、設備投資や雇用に係る費用の一部助成を実施します。

1,041,900千円

“熊本版スタートアップエコシステム”の構築

これまで行ってきたステージごとの支援に加え、オープンイノベーションを促進する取組や、首都圏や九州圏内でのPR等を拡充することにより、“熊本版スタートアップエコシステム”の構築を目指します。

64,300千円

中小企業の事業承継や引継ぎの促進

中小企業向けの啓発セミナーの開催に加え、市内中小企業の後継者(候補者)に既存の経営資源を活かした新規事業開発等を支援するアツギアクセラレーション事業を新たに実施し、事業承継支援を促進します。

7,400千円

企業誘致の取組

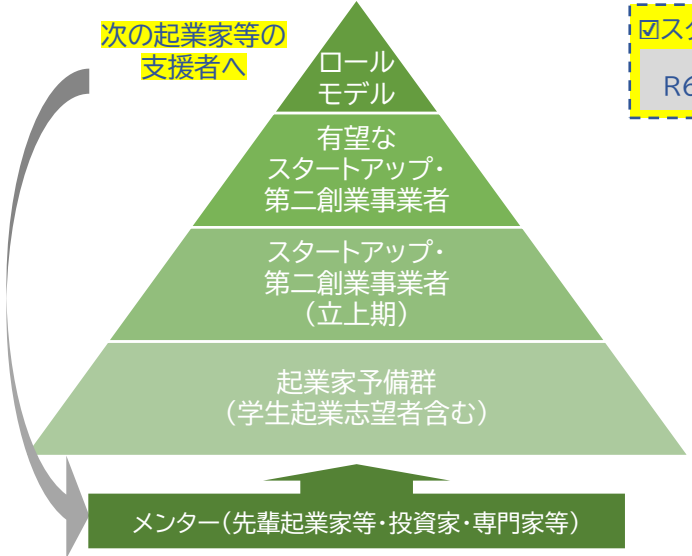


セミコン台湾での本市ブース出展



首都圏企業の本市視察ツアー

スタートアップエコシステム※(成長と支援の循環)



☑スタートアップ等支援関連予算の増
R6:1.1億円⇒R7:1.3億円(1.2倍)



スタートアップWカップ

※ ロールモデルとなる事業者を輩出し、次のスタートアップの支援者として、機運醸成や伴走型支援などに取り組み、スタートアップの連続排出を目指す仕組みのこと。

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

都市ブランドの向上

交流人口の増加

動植物園

観光資源の魅力創出による地域ブランド力の向上

熊本の地下水と親和性の高いサウナなどのイベント開催や、熊本ゆかりの人物にスポットを当てたPR等により、来訪に繋がる魅力を創出します。

10,000千円

新庁舎整備を契機としたまちづくりの推進

新庁舎整備を契機としたまちづくりを進めるため、現庁舎跡地にふさわしい利活用や周辺の建替え促進、回遊性向上にかかる取組の方向性を“(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン”としてとりまとめます。

55,000千円

ナイトタイムエコノミーの推進や夜間景観の充実

熊本城など、本市ならではの施設や地域等において灯りのイベントなどを実施することで、夜の魅力創出を図り、滞在時間の延長や宿泊につなげます。

43,500千円

台湾へのプロモーションによる誘客の促進

県や県内自治体と連携した台湾で開催される旅行博等でのプロモーションやSNSでの情報発信等により台湾からの誘客を促進します。

8,000千円

戦略的なMICE誘致活動の推進

継続的な誘致活動に加え、GDSアワード※の受賞の効果を活用した国際会議誘致プロモーションの拡充等により誘致を促進します。

97,600千円

※ 持続可能な観光地としての優れた取組を評価する国際的な賞

観光振興の取組強化のための安定的な財源確保

令和8年7月の宿泊税条例の施行に向け、旅行者等に対し十分な周知広報を行うとともに、宿泊事業者等の負担軽減を図ります。

113,000千円

開園100周年に向けたサバンナエリア整備

令和11年の熊本市動植物園開園100周年に向けたサバンナエリアの整備等の施設整備を進めるとともに、イベントの開催や広報等により集客を図ります。

1,015,000千円

観光資源の魅力創出



動植物園サバンナエリアのイメージ



現在の草食獣エリアに、広大なサバンナと低木林を再現し、動物本来の生息環境に近づけた展示を行い、サバンナの先には江津湖が望める景観を創出できるようにする。

未来へ向けた農業の担い手確保

就農希望者への実践型の就農体験の提供や、新規就農者への早期定着・経営安定に向けた支援を実施することで、未来へ向けた農業の担い手確保に努めます。

24,000千円

夢と活力ある農業のための支援

農業生産性を向上させるため、スマート農業の推進や自然災害対応等への対策、経営改善のための農業経営コンサルタントの活用等、農業者の主体的な取組を支援します。

43,400千円

農業基盤整備の着実な推進

農道・用排水路等の整備のニーズに対応することにより農業経営の安定化を図ります。

666,355千円

半導体関連企業の進出を契機とした海外への食の魅力発信

半導体関連企業の熊本進出を契機として、輸出を目指す生産者等の輸出や台湾・アメリカをターゲットとした販路拡大・プロモーションを支援します。

16,000千円

農と食の未来をつくる理解醸成の推進

適正な価格形成に向けた市民の理解醸成と生産者の収益を確保するため、SNS等での発信や地産地消の取組を推進します。

11,000千円

年間を通した国内への熊本産品プロモーション

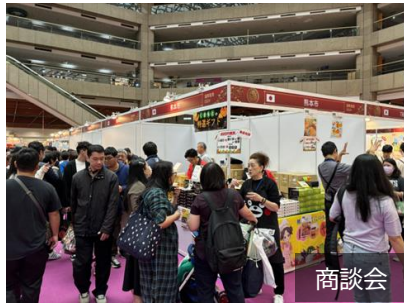
大消費地である首都圏での販路拡大に向け、熊本産品の旬をとらえた効果的なプロモーションを通年で実施します。

15,100千円

農業の担い手確保	
取組	概要
柑橘産地担い手確保支援【2,000千円】	就農希望者に対し、産地が一体となり実践型の就農体験を提供する (1)就農希望者の技術研修に係る交通費や宿泊費等補助 (2)就農相談会へのブース出展
就農スタートアップ支援【22,000千円】	新規就農における初期投資等の負担を軽減することで、早期の就農定着を図る (1)農業用機械や施設等の整備補助



海外への食の魅力発信



熊本産品プロモーション



ハウス内環境モニタリング
温度や湿度等の環境をモニタリングして見える化



直進アシスト機能搭載トラクター
GPSを活用⇒ほ場内作業を効率化

ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち



◆ ビジョン3がめざす姿と取組の方向性

あらゆる危機事象から市民の生命と健康、暮らしを守る強くしなやかなまちを目指し、熊本地震や過去の風水害、新型コロナウイルス感染症などへの対応で得た教訓を踏まえ、市民や地域、民間事業者と協力しながら、ハード・ソフト両面の対策に取り組めます。

さらに、安全・安心なまちづくりに向け、交通安全・防犯、消防・救急体制の整備を進めるとともに、質の高い救急及び医療体制の充実を図ります。

◆ ビジョンを実現するための施策

3-1 防災・減災の推進	これまでの災害の教訓をいかし、地域防災力の最大化に努めながらハード・ソフトの両面から対策を進め、激甚化する災害や多様化する危機事象から市民生活を守ります。
3-2 保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保	新型コロナウイルス感染症の経験をいかし、感染症等の健康危機発生・拡大に迅速に対応できる保健衛生体制の強化を図ります。また、関係機関等との連携により、医療提供体制の確保、生活衛生の充実に努めます。
3-3 総合的な消防・救急体制の強化	消防・救急体制の更なる充実を図り、市民の生命と財産を守ります。
3-4 交通安全・防犯の推進	交通事故や犯罪などのない安全で安心して暮らせるまちづくり、犯罪被害者に優しいまちづくりを推進します。また、交通事故や犯罪被害に遭わないよう、平時から交通安全や防犯の啓発に取り組めます。

(関連するビジョン)ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち

防災・減災の推進
消防・救急の強化
防犯推進
医療

新庁舎整備の推進

新庁舎に必要な機能等について、市民ワークショップやアンケート、説明会等を実施し、市民の意見を踏まえながら検討を進めます。

294,000千円

災害時の避難行動促進への取組

白川洪水浸水想定区域図の変更に伴うハザードマップの刷新を行うとともに、市民が適切な避難行動に繋がられるよう浸水標識の設置を行うなど、災害時の避難行動を促進します。

91,700千円

個別避難計画の策定による避難行動要支援者への支援

災害時の避難に支援を必要とする避難行動要支援者に対し、個別避難計画作成を推進することで、より実効性のある支援体制を構築します。

34,800千円

DXの推進による消防・救急の充実強化

消防行政においてDXを積極的に推進し、更なる市民サービスの向上、業務の効率化、消防力の強化を図ります。

14,353千円

小島出張所の移転建替え

建物の老朽化や大規模洪水による浸水可能性のある小島出張所の移転建替えに着手します。

277,800千円

地域防犯力の強化

町内自治会等における防犯カメラの設置等に係る費用を補助することで、地域の防犯力の強化を図ります。

60,000千円
(全額R6.2補正計上)

がん患者のQOL※向上支援

令和6年度から開始した医療用ウィッグや乳房補整具等の購入費用の助成に加え、新たに若年がん患者への在宅療養生活支援を実施し、がん患者の生活の質の向上を図ります。

6,260千円

※「Quality Of Life(クオリティ・オブ・ライフ)」の略称で、生活の質のこと

新 庁 舎 整 備



個 別 避 難 計 画



(図：熊本県避難行動要支援者の個別避難計画取組事例集より抜粋)

犯罪被害者等に対する独自支援

犯罪被害

犯罪被害者等に対し、市独自の見舞金を支給するなどの経済的な支援を行うとともに、市民等への啓発を行います。

3,050千円



◆ ビジョン4がめざす姿と取組の方向性

だれもが自分らしく生きることができるよう、ダイバーシティ(多様性)を推進し、性別、国籍、出身地、年齢、障がいの有無などによって差別や偏見を受けることがなく、人権が尊重され、お互いを認め合う人権尊重社会を実現します。

また、高齢者が生涯現役で安心して暮らすことができ、障がいのある人がいきいきと生活し、自分らしく活躍できる社会を推進するとともに、お互いがつながり支え合う地域づくり、誰一人取り残さない社会の実現に取り組みます。

さらに、男女共同参画の推進により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思や意欲に応じて、社会のあらゆる場面で能力を発揮できる環境整備に取り組みます。

くわえて、増加する在住外国人と地域住民とが、お互いの価値観を尊重し合える暮らしやすいまちづくりを進めます。

◆ ビジョンを実現するための施策

4-1 人権尊重社会の実現	人権に対する市民の意識が高まることで、お互いの権利が尊重され、だれもが自分らしく生活できるまちを実現します。
4-2 だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える社会の実現	年齢や障がいの有無などにかかわらず、だれもが生きがいと尊厳を持って暮らし、お互いがつながり支え合うまちをつくります。
4-3 男女共同参画の推進	固定的性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思と意欲に応じて、社会に参画できるようにします。
4-4 多文化共生の推進	本市に生活・滞在する外国人への、必要な情報の提供や様々な支援の充実とともに、国籍や言語の違いを越え、お互いの文化や価値観の相互理解と交流を促進することで、多文化共生を実現します。

ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

自立支援・社会参加
地域福祉
多文化共生・外国人ニーズ

障がい者の特性に応じた就職支援

障がい者の就労支援を行う「熊本市障がい者就労・生活支援センター」の運営に加え、短時間の就労を希望する障がい者の新たな就労の選択肢を増やすことで、障がい者の就職をさらに促進します。

19,709千円

障がい者の雇用促進と活躍機会の創出

障がいのある職員を雇用し、職員の特性に応じた就労支援や働きやすい職場環境整備を目的に、定型業務や軽易作業を行う集合型のワークステーションを新たに設置します。

94,200千円

民生委員協力員の配置による地域福祉活動の推進

民生委員・児童委員活動をサポートする民生委員協力員の配置により、地域福祉活動を推進します。

1,800千円

第2期国際戦略の推進

フランス・エクサンプロヴァンス市との交流や北米への訪問を通じて観光等をはじめとする本市のPRを行います。

19,300千円

台湾からの移住者向けの支援と交流の促進

台湾等からの転入者が地域へスムーズに定着できるよう、生活情報セミナーや交流型のイベントを実施し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。

9,100千円

外国人受入環境の整備

本市の在住外国人の増加に伴い日本語学習へのニーズが高まっていることから、「生活」に密着した体系的なカリキュラムの開発を行い、地域日本語教育の総合的な体制づくりを推進します。

10,400千円

ワークステーションの概要

体制

会計年度任用職員 6名程度
ジョブコーチ 1～2名程度
※ジョブコーチの人件費は障がい福祉課で計上

業務

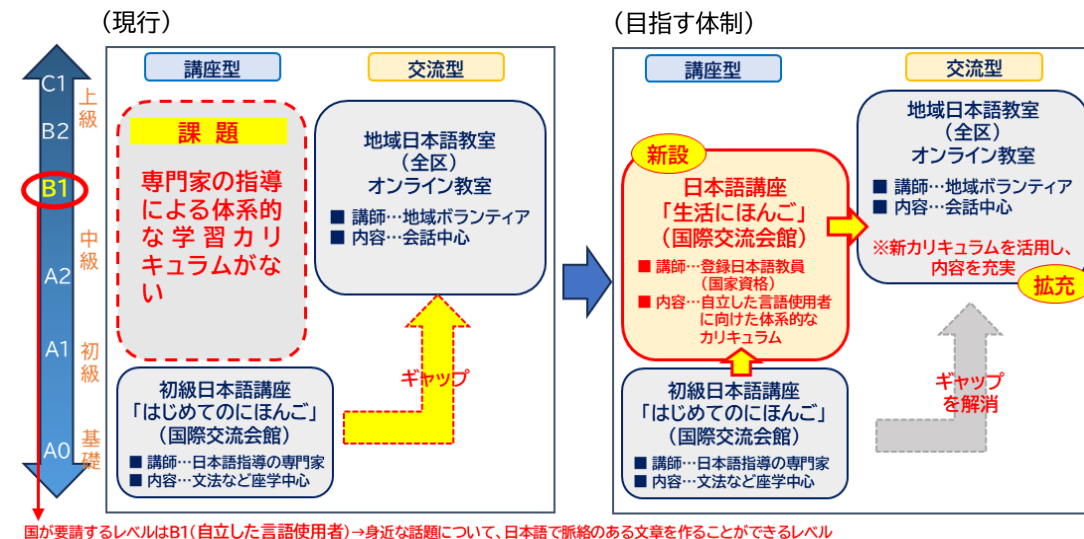
- ・物品購入管理(在庫管理・補充)
- ・データ入力・集計作業
- ・封入・封緘作業
- ・その他各課における軽易作業

北米に向けたトップセールス



全米市長会総会の様子

本市の在住外国人向け日本語教育カリキュラム



ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち



◆ ビジョン5がめざす姿と取組の方向性

「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」を目指し、清らかな地下水や大気、快適で安全・安心な生活環境の保全に加え、その環境をもたらす生物多様性の保全に取り組みます。

また、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活様式を見直し、3R+リニューアブル(再生可能な資源への置き換え)の取組を進めながら、化石燃料等の枯渇性資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される循環型都市を目指します。

さらに、地球温暖化を防止するため、その原因となる温室効果ガスの排出を削減する取組を推進し、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指します。

◆ ビジョンを実現するための施策

5-1 カーボンニュートラルの実現	2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、温室効果ガスの排出を削減する地球温暖化対策を推進します。
5-2 生物多様性の保全と自然との共生	私たちの生活に様々な恵みをもたらす生物多様性の保全に向け市民・事業者の行動変容を促すとともに、生物多様性を維持・回復させることで、自然と共生する社会を目指します。
5-3 持続可能な循環型都市の実現	ごみの減量化や資源化などに取り組むことで、環境負荷の少ない、循環型都市を目指します。また、災害時においても安定した廃棄物処理体制を確立します。
5-4 快適で安全・安心な生活環境の保全	私たちの生活に欠かせない水や大気が良好に保たれた快適で安全・安心な生活環境を保全します。また、人と動物が共生するより良い社会を目指して、動物の愛護と適切な管理、野生動物による生活被害への対策を推進します。

(関連するビジョン)ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

地下水を未来につなげるための地下水かん養の推進 102,330千円

くまもと地下水財団への負担金や白川中流域において水田湛水を行う農家に対する助成金の交付により、熊本地域の住民・事業者・行政との協働による地下水保全の取組を推進します。

☑湛水助成金・負担金の増

R6:77百万円⇒R7:1億2百万円

水源かん養林の整備による地下水保全 63,100千円

西原村や大津町等で水源かん養林としての森林整備を実施します。
(財源にはグリーン/ブルーボンドを活用予定)

水質保全対策の強化 13,690千円

地下水及び公共用水域における水質の監視を継続するとともに、PFASの指針値超過が確認された地点について、監視を強化します。

江津湖の再生に向けた取組の強化 116,300千円

江津湖における水草駆除能力の強化を図るとともに、自然環境保全・再生に向けた現地調査を行い、江津湖のあるべき姿や利活用のあり方について整理し、今後の取組方針及び計画を策定します。

持続可能なくまもと脱炭素循環共生圏の推進 43,200千円

「第2次熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」の策定や地球温暖化対策の広報・啓発等を行うことで、脱炭素化の取組を推進します。

熊本連携中枢都市圏で取り組む市町村有施設の脱炭素化 97,070千円

国の交付金を活用し、連携中枢都市圏の市町村が実施する太陽光発電設備の導入やZEB化等の脱炭素化事業の加速化を図ります。

☑熊本市取組分

太陽光発電設備等:22,332千円

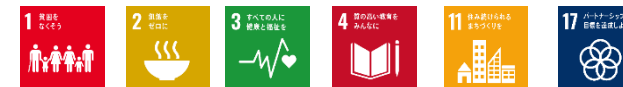
地下水かん養の取組



江津湖再生に向けた取組



ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち



◆ ビジョン6がめざす姿と取組の方向性

すべての市民の生活の質の維持・向上のため、多様な人々が交流し、社会とつながる地域コミュニティづくりを支援します。

さらに、人生100年時代、すべての市民が健康で、学びやスポーツなどの生きがいを持ちながら豊かな人生を送ることができるよう支援するとともに、身近に文化芸術に親しむことができるまちづくりを進めます。

また、市民の安心を確保するため、社会保障制度を適切に運営します。

◆ ビジョンを実現するための施策

6-1 地域コミュニティ活性化の推進	地域に住むあらゆる人々が主体的に関わり、行政や事業者などと協働しながら、互いに温かく見守り、支え合うことのできる地域コミュニティを維持し、更なる活性化を推進します。
6-2 人生100年時代を生きるための健康づくりの推進	「自らの健康は自ら守る」という健康意識を更に高め、ライフステージに応じた市民の健康づくりの実践・継続を促すことで、健康寿命の延伸につなげます。
6-3 生涯にわたる学びやスポーツの推進	生涯にわたって学びやスポーツを楽しめる環境を整え、市民の成長と自己実現につなげ、その成果が地域でいかされるような環境をつくります。
6-4 文化芸術が持つ多様な価値の活用	本市が誇る歴史的文化遺産が適切に保存されるとともに、文化芸術に触れる機会が多く提供され、多くの市民が文化芸術に親しめるまちづくりを進めます。
6-5 市民の安心を確保するための社会保障制度の運営	社会保障制度を適切に運営するとともに、生活困窮者への適切な支援ができる体制を整えます。

(関連するビジョン)ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち／ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち／ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

早期発見のためのがん検診の強化

大腸がん罹患・死亡者数の減少のため、医学的に効果が高い、全大腸内視鏡検査を新たに導入し、55～59歳の市民を対象に1,000件を無償実施します。

☑新たな検査方法の導入

全国初

全大腸内視鏡検査の無償実施

614,400千円

健康ポイント付与による健康づくり

健康づくり活動を推進するため、熊本健康アプリを熊本連携中枢都市圏等で共同運用し、圏域の自主的な健康づくりを支援します。

71,900千円

受動喫煙防止の推進

新たに中心市街地への分煙施設の設置に対する助成を行うことで、望まない受動喫煙の防止を推進します。

39,380千円

「くまもとポイント」アプリを活用した地域活動の活性化

マイナンバーカードと紐付けたくまもとアプリを本格運用し、ポイント等のインセンティブを付与するとともに、地域活動への参加を「見える化」することで、活動の活性化を図ります。

24,000千円

記念館におけるイベント開催による認知度向上や魅力発信

NHK連続テレビ小説「ばけげん」の放送に合わせた小泉八雲熊本旧居のPRイベントや展示の充実を行い、記念館の活用をさらに促進します。

28,700千円

熊本の工芸品の開発インターンシップによる魅力の発信

全国からインターンシップ生を募集し工芸品の新商品開発を行うほか、工芸品を楽しむイベント開催による魅力発信に取り組みます。

4,900千円

くまもとアプリの本格運用に伴う活動範囲拡大イメージ

対策① ポイント付与対象活動の多様化

✓ ポイントを貯める機会の創出

自治会活動や協賛企業のCSR活動など、ポイント付与対象活動の範囲を拡充や期間限定のポイント付与数アップを行う。

対策② インセンティブの充実

✓ 電子クーポン・抽選会景品等の充実

協賛企業の店舗で利用できる電子クーポンや抽選会の景品等魅力的なインセンティブとなるよう、公募等を通じて協賛企業の数を増やす。

対策③ 若年層へのアプリ利用促進

✓ 高校や大学等への働きかけ

高校や大学等に出向き、学生に対してアプリの説明会を行い、利用を促す。

令和7年度に予定している主な熊本城の復旧工事



飯田丸五階櫓復旧工事(被災直後)



宇土櫓続櫓台石垣復旧(解体)工事

文化財

熊本城の計画的復旧

2,997,542千円

宇土櫓続櫓石垣解体や本丸御殿大広間復旧設計委託等を実施するほか、最新技術を活用した重要文化財防火対策検討を実施します。

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち



◆ ビジョン7がめざす姿と取組の方向性

安全で良好な都市基盤の形成に向け、都市機能の維持・確保と適正な土地利用を推進し、人口減少社会に対応した、災害に強いまちづくりを進めるとともに、地域の特性をいかした良好な景観形成に努めます。

また、広域道路ネットワークや都市計画道路、幹線道路の整備を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理に努め、良好な道路環境の実現に取り組みます。さらに、上下水道等のインフラの整備や、市有建築物の安全対策、良好な居住環境の形成、空き家対策に取り組みます。

くわえて、バス、市電、自転車などの交通モードと自動車交通の組合せにより、だれもが移動しやすいまちの実現に向けて取り組みます。

◆ ビジョンを実現するための施策

7-1 持続可能で魅力的な都市づくり	バランスとメリハリの利いた土地利用の下、災害に強く、良好な景観が形成された多核連携都市を実現します。また、良好な道路環境の実現と持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築により、安全で快適な移動を実現するとともに、市有建築物の安全対策を推進します。
7-2 豊かな住生活の実現	生活様式や世帯構成の変化・多様化に対応しながら、防災・防犯上の心配が少ない、安心して暮らせる豊かな住生活を実現します。
7-3 安全で持続可能な上下水道サービスの提供	上下水道施設の適切な維持管理と計画的な整備を行うとともに、災害に強く、すべての市民が安心して利用できる上下水道サービスを提供します。

バス走行環境の改善による利便性向上

基幹公共交通軸の一つである長嶺方面(産業道路～国体道路)におけるバスの機能強化を図り、利便性向上に取り組みます。

交通量分散による渋滞の緩和

集中する交通量の分散による交通渋滞の緩和を図るため、現況調査及びルートマネジメントの検討等を行います。

南熊本快速バスの試験的運行

中心市街地へのアクセス強化と混雑が著しいJR新水前寺駅からの分散化を図るため、JR南熊本駅と中心市街地を結ぶ快速バスの実証実験を実施します。

公共交通の利用促進につながる取組を支援

民間事業者の自由な発想による利用促進策が行えるよう新たな補助金を創設するなど、公共交通の利便性向上と利用者増を図ります。

☑新たな取組

事業者への補助を創設

持続可能な公共交通のあり方検討

目指す公共交通の姿を実現するため、長期安定期に公共交通サービスを供給していくためのあり方等を検討します。また、地域公共交通計画の策定に向けた課題や必要な施策の整理を行います。

運転士不足解消等に向けた自動運転の実証実験

運転士不足や移動手段の確保等の課題に対応するため、自動運転バスの実証実験(レベル2)を継続して実施します。

コミュニティ交通の推進による市民の移動手段の確保

公共交通空白地域等におけるAIデマンドタクシー等の運行を行うとともに、持続可能な運行のためのシミュレーションを行います。

11,700千円

5,000千円

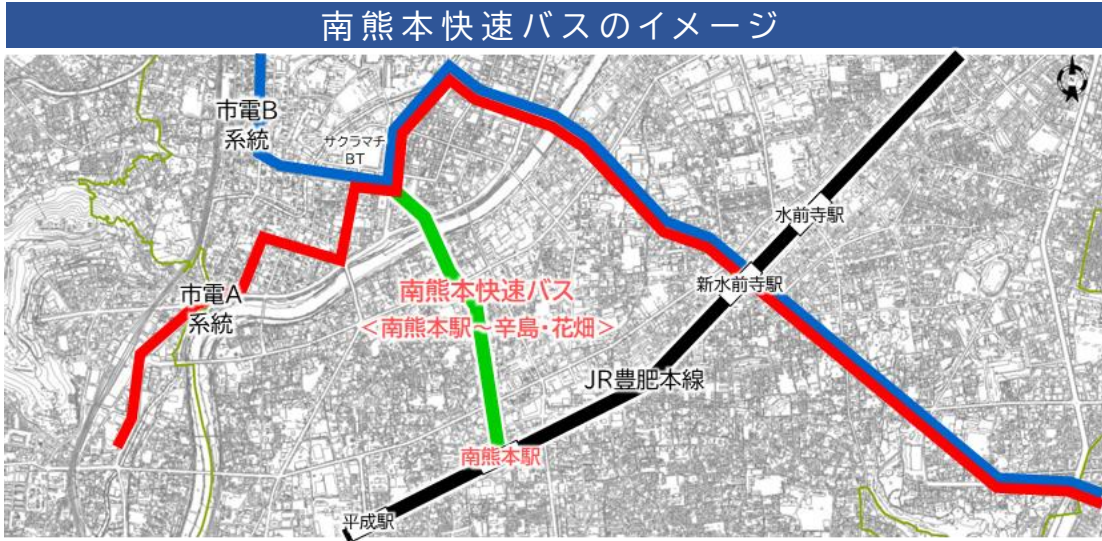
11,000千円

20,000千円

19,000千円

152,000千円

61,000千円



公共交通利用促進事業補助金のイメージ

	単一モード & 単一事業者の取組	複数モード & 単一事業者の取組	単一モード & 複数事業者の取組	複数モード & 複数事業者の取組
対象	 or  市電 路線バス (単一事業者)	  電鉄バス 電鉄電車	 路線バス (複数事業者)	 +  など 市電 路線バス (複数事業者)
上限額	750万円	1,000万円	1,000万円	1,500万円
補助率	評価点 7割～8割未満	1/2	1/2	1/2
	8割～9割未満	2/3	3/4	3/4
	9割以上	3/4	9/10	9/10

10分・20分構想



◆ ビジョン8がめざす姿と取組の方向性

市民に信頼される市役所の実現に向け、質の高い行政サービスを提供し続けます。

そのために、限られた行政資源を効果的・効率的に活用することで、行政サービスの質の向上に努めるとともに、将来にわたって持続可能な行財政運営を推進します。

また、多様化・複雑化する行政課題に対応するため、企画立案能力や課題解決能力の高い職員の育成に努めます。

さらに、市民の参画と協働を推進し、行政情報を広く発信しながら、市民の意見を政策に反映するとともに、行政情報の適切な管理、公開に取り組みます。

くわえて、近隣市町村をはじめ、政令指定都市や九州各都市、熊本県等と課題や目指すべき将来像を共有し、広域的な取組を強化します。

◆ ビジョンを実現するための施策

8-1 行政サービスの質の向上と持続可能な行財政運営の推進	限られた行政資源を効果的・効率的に活用するとともに、職員の企画立案能力等を向上させることにより、行政サービスの質の向上に努め、将来にわたって持続可能な行財政運営を行います。
8-2 開かれた市役所の実現	市民が市政について知る機会が充実するとともに、多様な市民が市政に参画し、意見が政策に反映される開かれた市役所を実現します。
8-3 市域を越えた広域的な連携の強化	政令指定都市及び熊本連携中枢都市圏の連携中枢都市としての役割を果たしながら、他の市町村等との連携を更に強化し、広域的な課題を解決します。

カスタマーハラスメント対策

カスタマーハラスメント対策として通話録音装置等を導入するとともに、「接客意識向上研修」を実施することで接遇の向上を図ります。

50,930千円

書かないワンストップ窓口の導入

利用者目線からの業務改革(BPR)を行い、ライフイベントに伴う手続きが1カ所で受付可能となる書かないワンストップ窓口を導入します。

185,660千円

建築関係手続き等のオンライン化の推進

屋外広告物手続きや建築行政手続きのデジタル化により、市民の利便性向上と業務の効率化を図ります。

55,500千円

データ利活用の環境整備やEBPM※の推進

※ 証拠に基づいた政策立案のこと

データを利活用できる人材の育成や、データを活用した企画立案の伴走支援のほか、庁内各課に蓄積されたデータを活用可能な状態にする環境整備を実施します。

57,000千円

庁内業務における生成AI利活用の推進

庁内の計画やマニュアル等を参照して回答するRAG(検索拡張生成)の導入に向けた実証実験を行うなど、生成AIの更なる利活用を図ります。

3,000千円

デジタル技術の導入による技術人材の育成

本市施設においてBIM※データを試行的に作成し、大学と共同研究を行い、有効な活用方法の検討を行います。

2,300千円

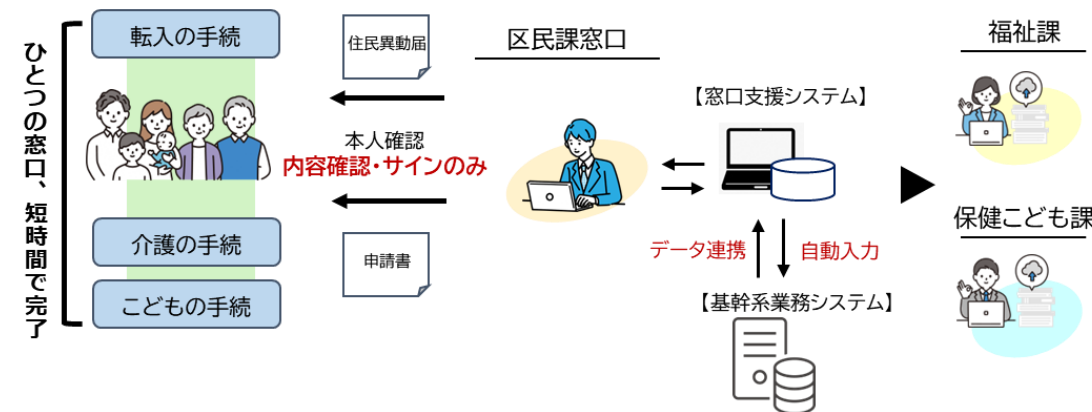
※ Building Information Modeling
の略語で、建築に必要な情報を一つの3Dモデルに集約するデータベース

企業人材の活用による行政課題解決

専門的な知識や業務経験を有する企業の社員を受け入れ、複雑化・多様化する行政課題の解決につなげます。

5,600千円

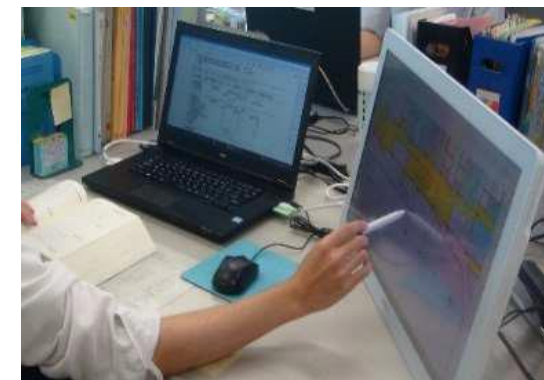
書かないワンストップ窓口のイメージ



カスタマーハラスメント対策



建築関係手続き等のオンライン化



区における自主自立のまちづくり

- めざすまちづくり
 - 少子・高齢化や人口減少が進行する中、持続的な地域社会を維持するためには、あらゆる住民がつながり、お互いが助け合い、支え合う住民主体の地域コミュニティがより重要となります。そこで、地域と一緒にあって課題の解決に取り組むなど、住民自らの創意工夫による自主自立のまちづくりを支援します。

● まちづくり支援の方針 <table><tr><td>地域の魅力を いかした特色ある まちづくりの推進</td><td>つながり、 支え合える 環境づくりと 多様な主体の連携 の促進</td></tr><tr><td>地域活動に参加 しやすく、生きがい が持てる仕組み作り の推進</td><td>デジタル技術の活用 による地域の課題 解決・魅力向上</td></tr></table>		地域の魅力を いかした特色ある まちづくりの推進	つながり、 支え合える 環境づくりと 多様な主体の連携 の促進	地域活動に参加 しやすく、生きがい が持てる仕組み作り の推進	デジタル技術の活用 による地域の課題 解決・魅力向上	新たな出会いと未来創造の都会 ～つながる、中央区。～ ● 本市内のマンションの3分の2近くが中央区に存在し、マンション居住世帯数の割合が極めて高いことや、在住外国人が他区に比べ比較的多いことなど、地域に暮らす人々の価値観やライフスタイルが多様化していることを踏まえると、複雑化した地域課題に対応した新たな地域コミュニティの構築が求められています。	自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区 ● 高齢化等の影響による地域団体の担い手不足や地域活動への参加者減少など様々な課題解決に向けて、地域貢献に積極的な事業者等が多いことなどをいかし、区役所と住民、事業者などが協働してまちづくりを進めていきます。
地域の魅力を いかした特色ある まちづくりの推進	つながり、 支え合える 環境づくりと 多様な主体の連携 の促進						
地域活動に参加 しやすく、生きがい が持てる仕組み作り の推進	デジタル技術の活用 による地域の課題 解決・魅力向上						
金峰望む 華のあるまち西区 ● 地理的特徴や都市構造の違いから、「金峰山系」「有明海沿岸」「上熊本周辺」「熊本駅周辺」「西部」の5つのエリア毎に課題を整理し、地域の実情に応じたまちづくりに取り組むことで、それぞれの地域力を高めていきます。	～みんなでつなぎ、みがき、ひろげる～ いきいき暮らしのまち 南区 ● 区域内における人口増加地域と減少地域の二極化、慢性的な交通渋滞や利便性の低い地域公共交通、町内自治会・農漁業・文化活動などあらゆる分野の担い手育成などの地域課題解決に取り組み、地域の特性に応じた魅力あるまちづくりを目指します。	ず～っと住みたい“わがまち北区” ～歴史・自然・文化・人がつながり個性輝くまちをめざします～ ● 隣接する菊陽町に、世界最大の半導体企業が進出したことで、今後、人口増加と地域経済の活性化が期待されます。これを好機と捉えて、各地域の良さを引き出すことで区全体の交流や区民と区役所の協働を更に促し、区民満足度の高い魅力あるまちづくりを進めていきます。					

区における自主自立のまちづくり

中央区
東区
西区

地域と企業等を結ぶ応援事業 1,500千円

地域団体と地域貢献に関心のある企業や学校等をマッチングして連携事業を創出することで、多様化する地域課題の解決や地域活性化を図ります。



大学生との交流による多文化共生事業 3,000千円

町内自治会等の地域団体と大学生(留学生含む)や在住外国人との交流の機会を創出することで、地域の活性化や多文化共生の推進を図ります。



地域力パワーアップ大作戦 1,236千円

地域団体等と地域貢献したい事業者等をつなぎ、地域課題の解決を図るとともにコミュニティを活性化させます。



まちづくりリーダーのたね事業 1,200千円

子どもと大人がともに地域課題の解決に取り組み、将来の主体的なまちづくりへの参画に繋がるよう、世代間交流による地域の活性化を推進します。



西区での野菜摂取促進事業 448千円

野菜摂取推定量の測定と、生産者や民間企業等の地域資源と協働した啓発により、区民の野菜摂取を促進し、西区の健康課題の改善を目指します。



西区チャンネル配信事業 955千円

地域独自の魅力や活動等を動画で配信することで、子ども・若者世代に地域に関心を持ってもらい、地域行事への参加・協力のきっかけとし、新たな担い手確保につなげます。



南区
北区
5区共通

デジタルでつなぐ“たからもの”活用事業 1,035千円

デジタルスタンプラリーを実施することで、あらゆる世代にデジタル技術への関心を高めるとともに、区の魅力を発信し、認知度の向上につなげます。



eスポーツによる健康まちづくり事業 574千円

高齢者の健康増進、デジタル機器への抵抗感の低減を図るとともに、幅広い年齢層の住民を対象とした体験会等を開催し、世代間交流やコミュニティの活性化につなげます。



北区民の血管を守ろうプロジェクト 300千円

企業・大学・行政が連携し、北区民が適正体重を維持するための生活習慣の継続とヘルスリテラシー向上を目指すため、行動変容を促す取組を推進します。



北区まちづくり懇話会 1,047千円

人口減少に伴う地域の担い手不足や外国人の受入れなど、様々な地域課題について協議し、暮らしやすいまちづくりを目指します。



地域担当職員研修の実施 1,000千円

課題分析等のまちづくりコーディネーターとしての資質向上のための研修を実施します。

まちづくり推進経費	
各区	19.8百万円
共通	1百万円
計	1億円



熊本市
政策局 総合政策部 政策企画課
TEL:096-328-2035 FAX:096-324-1713
E-mail:seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp